



公式サイト

柳川市民文化会館

【開館時間】午前9時～午後10時、月曜休館
【問い合わせ】☎0944・73・7777

水都やながわ information



春休み！すいとで遊ぼう！



4月5日(日)にロビーや掘割広場で子ども向けの体験型ワークショップやマルシェ、ミニライブなど楽しいイベントを開催します。家族みんなで遊びにきませんか。申し込みが必要なイベントは先着順です。右上のQRが水都やながわへ電話での申し込みをお願いします。

4月5日(日) タイムスケジュール

イベントホール	ロビー	掘割広場
9:40～ 開会式 オープニング エイサー琉球國祭り太鼓		
10:00～ ハイハイレース よちよちレース	10:00～16:00 マルシェ 駄菓子屋さん ボードゲーム キッズスペース (プラレール、 やわらか積木)	10:00～16:00 しゃぼん玉アート ねこ譲渡会 わんわん広場
11:40～ リトミック体験会		10:00～16:30 マルシェ
12:10～ バルーンアート		東側駐車場に キッチンカーも やってきます
12:40～ 子どもの主張(先着5人)		
13:00～ ダンス アクセスジャパン D-LIFE	14:00～ 紙相撲大会 (先着20人)	
14:00～ 書道パフォーマンス	ミニライブ	
14:50～ ビンゴ大会(先着100人)		
15:30～ フィナーレ あふりかじゃんぐる (アフリカ音楽)		



体験型ワークショップ

□貯金箱作り

●時間・定員 ①午前10時～正午②午後2時～4時
各8組(先着順)

□パッチワークづくり

□革のキーホルダーづくり

※体験型ワークショップの参加費は500円です。

□紙ひこうき大会

●時間・定員 午前10時～、40人(先着順)

□バックヤードツアー

●時間・定員 午後1時30分～、8組(先着順)

□ビンゴdeスタンプラリー

●定員 100人(先着順)

□柳川クイズ

●定員 午前、午後各50人(先着順)

定例 イベント

第2 木曜

リトミックひろば

- 日時 4月9日(木) ①午前10時～②午前11時～
- 料金 1組500円
- 講師 CHIAKI

第3 金曜

ロビーコンサート

- 日時 4月17日(金) 午後7時～(約60分)
- 料金 無料
- 出演 石橋旭姫(筑前琵琶)

新 市史抄片

【問】市生涯学習課柳川古文書館 (☎0944・72・1275)

No.212

阿波屋呉服店創業者 楠川伝七

柳川古文書館 中川 晃一

【図版1】阿波屋呉服店外観
(「柳河新報」明治44年1月1日号)



今回は、明治・大正期の柳川で阿波屋呉服店を営んだ楠川伝七を紹介します。

伝七は、嘉永5(1852)年に阿波国(現在の徳島県)で生まれました。伝七は徳島の藍問屋で働きはじめ、その働きぶりを店の主人に評価されて九州の販売を任されるようになります。伝七は九州各地に足を運び、特に柳川で多くの顔なじみを持つようになりました。

明治21(1888)年、伝七は柳川で商売の機会を見だし、沖端に移住して久留米絨や呉服を売る店を開きました。商号は自身の出身から「阿波屋」と名付けられました。伝七は商売をする上で地の利を得ることが重要であると考えており、明治27年に江戸時代から柳川の商業の中心であった柳河町の上町に、同33年には最も繁華であった辻町に移転するに至ります。

阿波屋呉服店は、柳川の中でも特に人の目を引く店の一つでした。明治38年には呉服店ながら英国式自転車の販売を行い、明治44年には当時販売が始まったばかりの扇風機を店舗に取り入れています。また、明治末期から日本で広がったショーウィンドウも取り入れ、日本人形などを用いて工夫を凝らし、松屋呉服店と並んで二大権威であると評価する人もいました。大正11(1922)年には店舗を壮麗な二階



【図版2】商品券販促の広告
(「柳河新報」大正8年8月11日号)

建てに増築しています。この頃より、阿波屋呉服店は、松屋呉服店と木下呉服店と並んで柳河町の三大呉服店と称されるようになります。

伝七は商売の才能があっただけではなく、社会奉仕の考えも持っていました。大正10年4月2日付の柳河新報に匿名の人物による「楠川翁に与ふ」という記事が掲載されています。この記事では伝七について、社会奉仕の熱意がありながら町会議員などの職に就いていないことは残念であること、自身を犠牲にして突進する勇猛な人物であり、柳川にとって清涼剤や刺激剤になりえることなどが述べられています。結局のところ、伝七は議員にはなりませんが、掘割の浚渫や学校への寄付といった社会貢献を行っています。

大正11年6月に店舗の増改築を見届けた伝七は、同年9月29日にこの世を去ります。長栄寺で行われた葬儀には500名余の人々が訪れました。跡を継いだ長男八十雄も、クロスワードパズルの開催や安売りの実施など商才を発揮し、昭和10年代には柳河安売団(柳河商工会主催)の団長や柳河呉服雑貨商組合の創立発起人も務めています。

柳川の商業は、楠川伝七のような柳川以外の出身者によっても支えられていたのです。

※表記は広報紙のルールで統一しています。